

道徳授業 Q&A

1年

【内容項目】
親切、思いやり

【教材名】
はしのうえのおおかみ
(光文書院)

主題を通して考えたいこと

- 他人が喜ぶと自分もうれしくなる心があることが分かり、思いやりの心をもって人に親切にして生活しようとする。

相談者①

Q1

内容：役割演技の仕方

A1

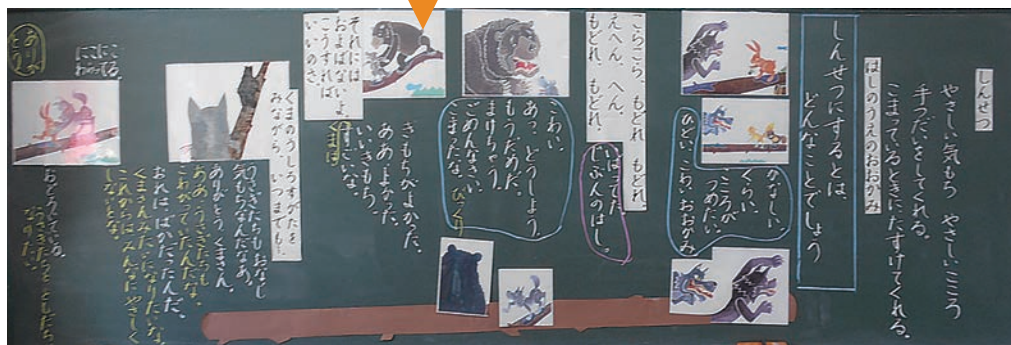
役割演技の場面と問いの工夫（土田）



千葉県富津市立
天羽小学校
有馬 佐恵子 先生

自分中心に考えてしまう子どもが多いと感じ、おおかみになりきる役割演技を取り入れました。前半は意地悪を楽しむおおかみの姿に共感させ、そして、橋を渡る場面を演技させ、優しいくまの行為について考えさせました。
多様な考えを引き出すためには、どの場面で、どの登場人物で役割演技させたらよいのでしょうか。

どの登場人物を取り上げるかは、「児童の実態」と「ねらい」によると考えています。「おおかみ」を演じた子どもに「くま」を演じさせる手法はいかがでしょうか？ 意図的に視点を換え、気持ちの変化がわかった後に、「くま」になってみることで、自分の力を人のために使うことのすばらしさにも気づくでしょう。
2つの役割演技をしたときに感じた違いは何か、演技を見ていた子どもたちにも問いたいですね。



◀この板書はナイス！

前半部で意地悪を楽しむ気持ちに共感させたことが、くまと出会った時の気持ちやその後の変化に表れています。



相談者②

Q2

内容：授業を貫く「問い」

A2

ねらいの立て方と問いの工夫（加藤）



大阪府池田市立
緑丘小学校
石光 政徳 先生

導入で、「人にやさしくすると？」というような発問をしました。子どもからは「いいことがある」「友だちができる」などの意見が出ましたが、既知内容について把握するに留まりました。
低学年でも授業を貫く「問い」をもち、主体的に道徳的な価値が深めていくためには、どのように導入の工夫をしたらよいのでしょうか。

せっかく子どもたちの思考に寄り添う形でスタートを切られたのですから、ここからひとひねり、問い返しの工夫が必要だったように思います。「やさしくすると相手が喜んでくれることは分かったけれど、自分はその分疲れちゃうのかな」など、「○○」の部分の解釈を柔軟に投げかけてあげると対話が広がり、深まるかもしれません。
たくさんの効果的な問い返しに、是非チャレンジしてください。

この板書はナイス！▶

子どもたちの思考の流れを大切にしようという意図のもと、視覚化などの子どもたちの思考をサポートするような工夫がなされ、展開が見やすくなっています。

